

地域活動と市民活動

第9回市民会議(22.8.29)

地域活動

(1) 意義・基本的な考え方

- ① 新城といっても地域ごとに特性がある。それを大切にする。
- ② 小さな単位から考える。できなかつたら上の組織へ(補完性の原則)。役所でやることと地域でやることの整理
- ③ 地域と行政の役割分担。得意分野をまかせて、サポートする。
- ④ 人と人のつながり 助け合いの精神が基本

(2) 有効に機能させるポイント

- ① 情報(3-7)
活動間の情報共有 活動内部の情報共有
交換 活発化
- ② さまざまな活動をしている人 他の活動を認め合い 提案・感謝 補い合い

↓↓[どうやって実現していくか]↓↓

(3) 交流・連携

- ① それぞれのノウハウや情報を持ち寄ったり パワーつく
活かしあう
- ② 関心を持ってあげる。行ってあげる。気にしてあげる。元

気になる。「・・・ですね」

③ 小中大さまざまな単位間での重層的な交流・連携

(4) 担い手の育成

- ① 子どもを大切にする。地域で子どもを育てる。
- ② コーディネーター 調整役 気づかいしてくれる人
ありがとうといわれる雰囲気 育てていくシステム

(5) 仕組み

- ① 地域自治区と支える仕組み その下に自主的に活動ができるように仕組みを作る 資金(の改革・統合)
- ② 資源の仕組み お金、人、情報、場所、資金と支援
- ③ 地域担当者制度(4-3)
サポーター、コーディネーター、まちづくり・まちつくろい
- ④ 情報の場、仕組み
- ⑤ 交流の場

市民活動

(1) 重要性

議論が足りない。